

# 中期計画の進捗状況

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

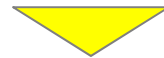


2019.10 株式会社富士通ゼネラル

## 企業理念

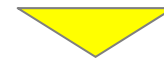
— 共に未来を生きる —

私たちは革新的なモノづくりを通じて、  
世界中のお客様と社会のために、  
安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。



## スローガン

INNOVATION & GLOBALIZATION  
今日にない明日を、世界の人に



## 当社グループ が目指す姿

お客様と社会に寄り添い、新しい価値の提供により、  
快適・安心・安全な社会の実現に貢献する

## ● 2022年度 全社目標

売上高

4,000億円

営業利益

400億円

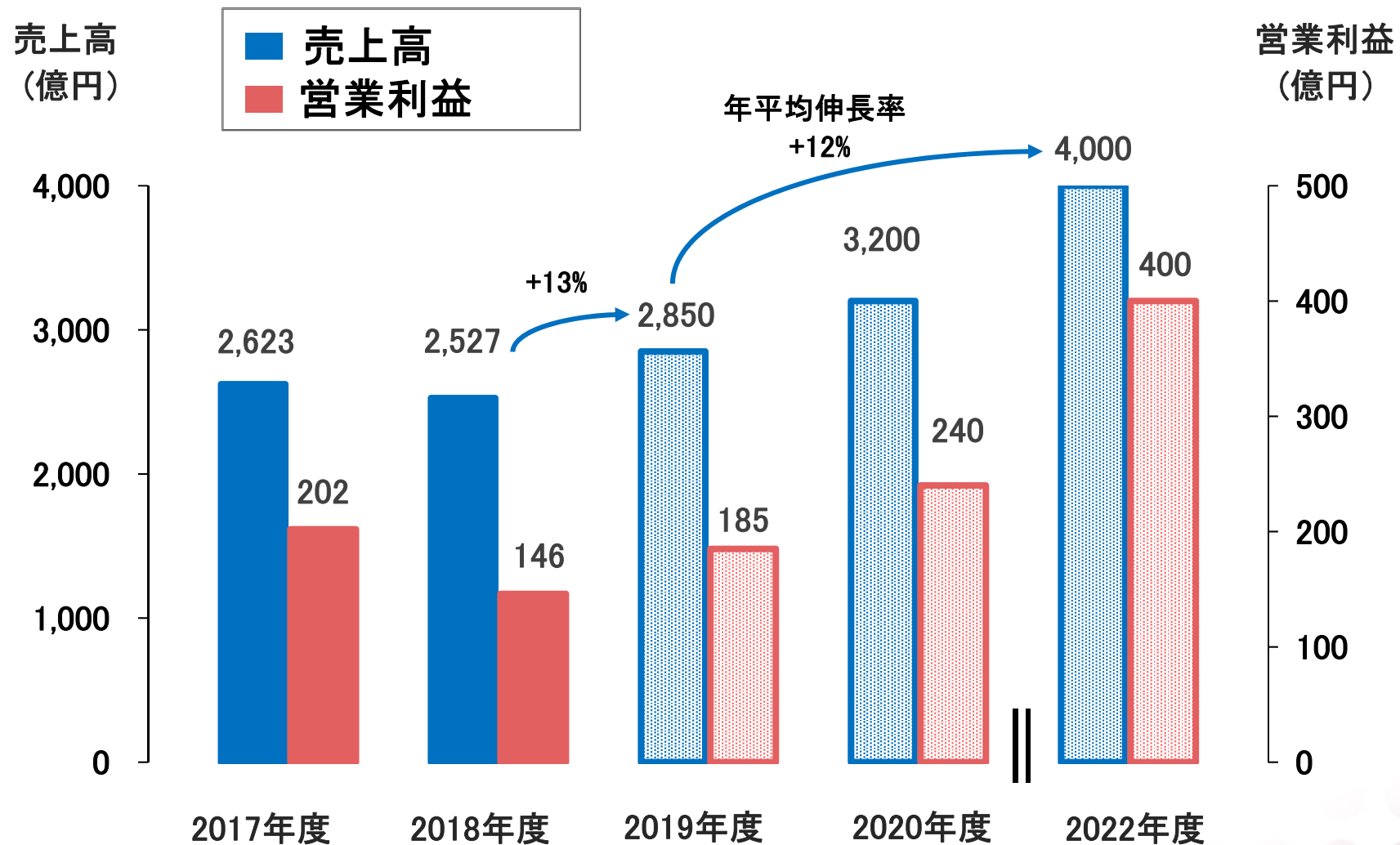
営業利益率

10%

CCC

65日以下

# 中期計画の進捗状況



# 空調機「5大拡大プロジェクト」と地域別進捗状況

## [5大拡大プロジェクト]

	テーマ	2022年度 売上目標	状況
既存	海外コマース ビジネスの拡大	1,300 億円	◎
	国内住設ルート の積極攻略	300 億円	○
新規	インド市場の攻略・ 拡大	400 億円	△
	協業加速による 北米ビジネス拡大	200 億円	○
	提携ビジネスの 推進	300 億円	○

## [地域別進捗]

地域	~2019上期	重点度
北米	・VRFのラインアップ拡充 ・Rheemとの提携効果の拡大	★★★
欧州	・VRFのラインアップ拡充 ・ATWの販売伸長	★★
中東・ アフリカ	・流通在庫の適正化完了	★
オセアニア	・PAGのビジネスは順調に 拡大	★★
インド	・価格競争激化で苦戦 ・ABS経由のVRF販売PJ始動	★★★
中華圏	・ルームエアコンは厳しい状 況が続くもVRFは回復傾向	★
日本	・住設ルートの新規顧客開拓 ・既存顧客深耕は着実に進展	★★

## ● インド

足元の販売は停滞しているが、ソリューションビジネスは順調に進展

- 価格競争の激化に伴う現地流通在庫の消化遅れ  
(当社製品価格は市場平均売価の約1.5倍)
- 合併会社の連結化交渉の長期化

### ▶ 攻略・拡大に向けた施策

ハード

連結化交渉を早期に終着させ、販売体制強化・販売網拡充を推進

現地ニーズに適合した新商品の投入  
(2020年1月より順次投入予定)

ソリューション

子会社化したABSを通じ、ソリューションビジネス拡大  
ハード領域とのシナジー効果創出

## ● 北米

### 製品ラインアップと販売網の拡充は順調に進展 さらなるビジネス拡大へ

#### 既存ビジネスの 深耕

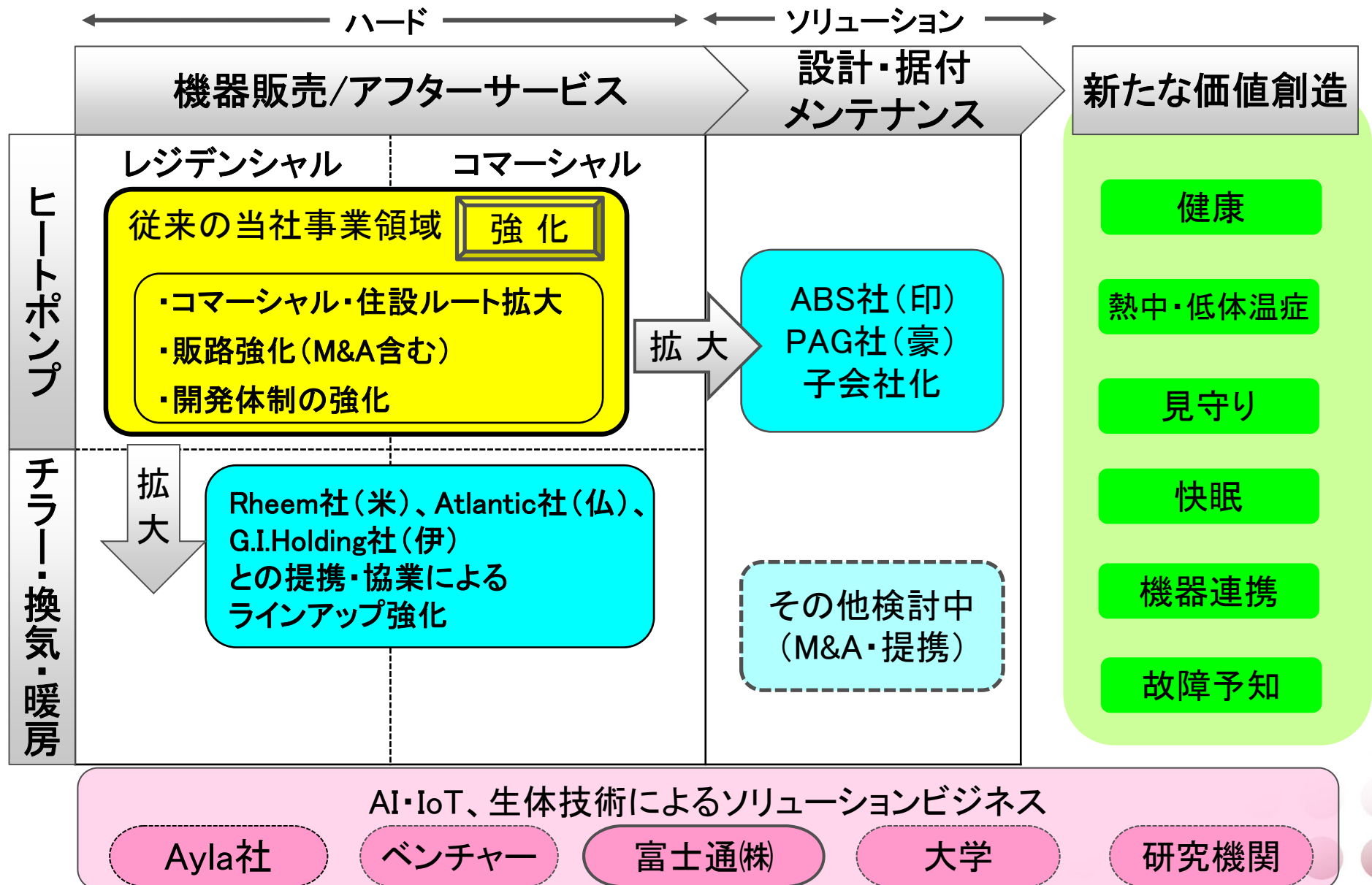
- ・RAC:ダクトレスエアコンの普及により、堅調
- ・VRF:中・小型機種ラインアップ強化などで伸長

- ・米国内の拠点拡張・新設(本年度下期)
  - 米国販売子会社の本社オフィス拡張  
(研修センター拡充、ショールーム設置、倉庫拡張)
  - 米国南部拠点開設  
(販売体制強化、R&D機能集約、研修センター設置)

#### 提携・協業

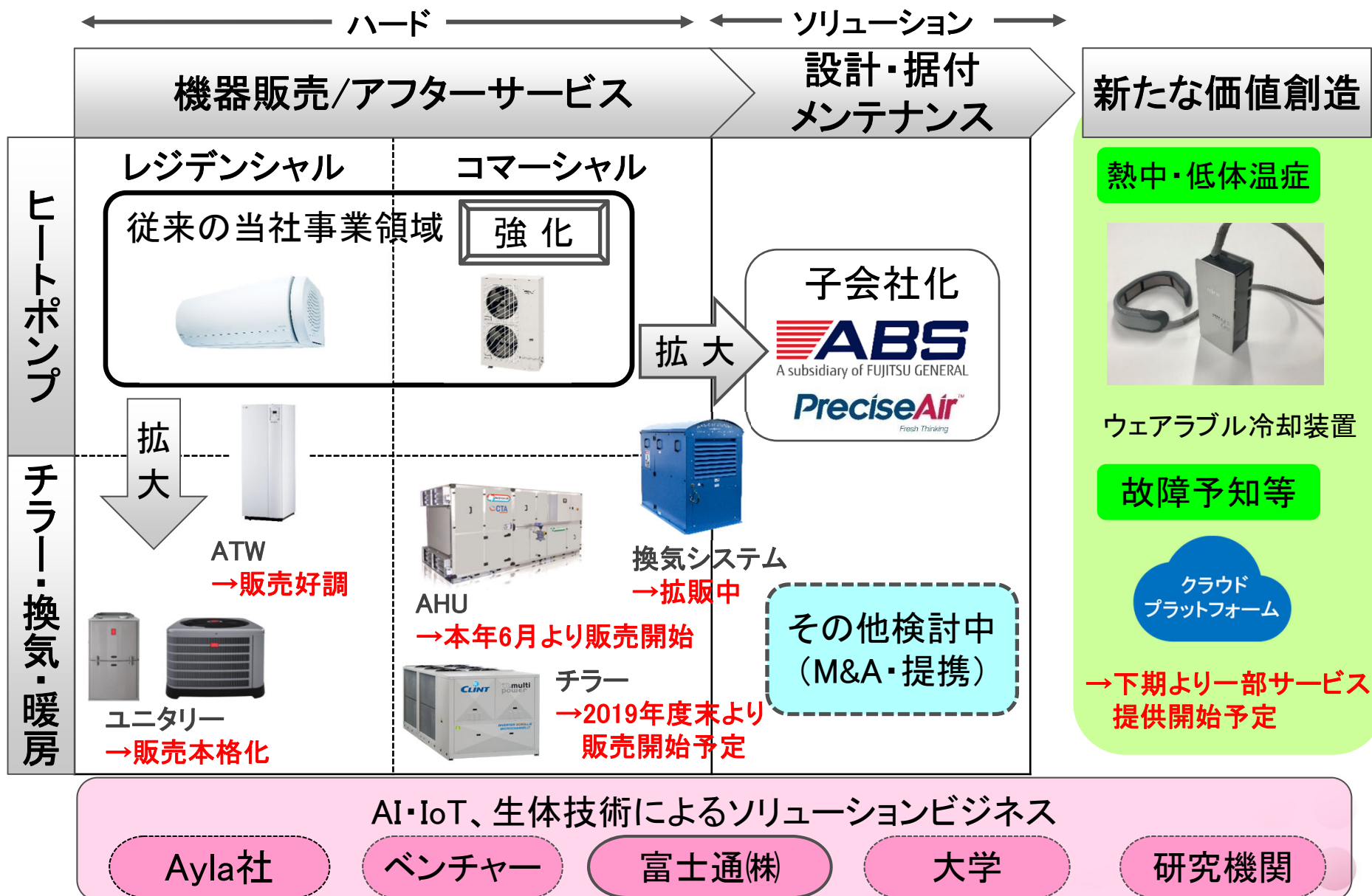
- ・Rheem社との提携で、米国式空調の販売急拡大
- ・同社との共同開発も進行中
- ・新たな提携・M&A案件も検討中

# 空調機ビジネスモデルの構築(概念図)





# 空調機ビジネスモデルの構築（進捗状況）



# ソリューションビジネスの推進

## 空調システムのライフサイクル全般にわたるソリューション提供



# ソリューションビジネスの進捗状況

## 空調エンジニアリング会社を活用したソリューション事業の拡大 PAG、ABSとも優良な顧客ベースを持ち、ビジネスは順調に拡大

### オーストラリア（PAG）

- ・新規顧客獲得により、2019年度売上は前年度比約20%伸長
- ・ソリューションビジネスモデル構築中（チラー、AHU等ラインアップ追加、システム化による顧客満足向上）



PAG社が担当した商業施設

### インド（ABS）

- ・新規顧客獲得により、2019年度売上は前年度比約60%伸長
- ・ABS社経由での当社製VRFを採用したプロジェクト案件が始動
- ・南部から北部へビジネス地域を拡大予定



ABS社が担当したオフィスビル

# 今後の成長・利益率改善に向けた先行投資

## 開発

- **開発拠点 (ICC) の新設 [64億円]**
  - ① 先行開発・要素技術開発の強化
  - ② オープンイノベーションの促進
  - ③ 技術アカデミー開設による開発者教育
- **標準化設計の推進**
  - 開発期間の短縮、開発機種拡大
  - 試作費用、金型投資の削減



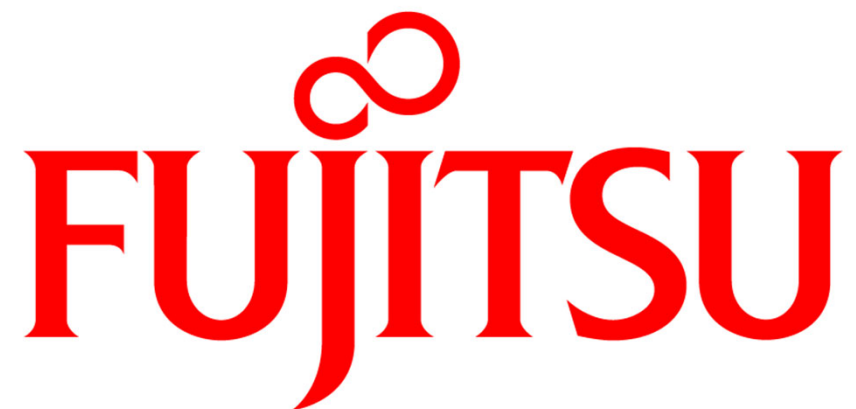
川崎本社に新設した開発拠点

## 製造

- **タイ第二工場の稼働開始 [80億円]**
  - IoTによるリアルタイム管理、自動化・省人化を推進
  - タイ生産拡大による関税のマネジメント
- **内製化の推進**



稼働を開始したタイ第二工場

The logo features a red infinity symbol positioned above the word "FUJITSU" in a bold, red, serif typeface.

富士通ゼネラル

- 共に未来を生きる -